

坂東俘虜収容所にドイツ兵俘虜が収容され、人道的に扱われたことで知られている。現在、鳴門市は資料などの世界記憶遺産への登録を目指しており、本市も観光効果などを期待し、連携した取り組みとしてはどうか。

教育部長 塩屋別院に収容されていたドイツ兵俘虜は、後に坂東俘虜収容所に移送され、日本で初めて第九の演奏を行ったと言われている。このことから現在も鳴門市とは様々な形で交流が続いている。今後もドイツ兵俘虜の活動をPRし、観光交流などにつなげたい。

丸亀城整備 募金を活用しては

神田議員 丸亀城石垣の改修工事が予定され、膨大な費用がかかることが予想される。整備の際に募金や寄附を活用した姫路城や熊本城などの例を参考に、丸亀城でもお城を好きになっってもらう仕掛けを含んだ募金を考えてはどうか。

教育部長 本市では、ふるさと納税制度に基づく寄附金を丸亀城整備にも活用している。気

軽に行える募金の例は全国的にも少ないが、募金した人にグッズや記念品などを贈呈することは、丸亀城に関われる仕掛けとして有効である。

今後、事例など調査し、寄附や募金システムを構築したい。



石垣修復が進む丸亀城

待機児童問題 解消の取り組みは

横川議員 本市の待機児童、隠れ待機児童の推移は。また、原因の分析と解消に向けた努力について伺う。

子ども未来部長 本市の待機児童数は、平成26年度末以降は0人だが、他に入所可能な施設



待機児童の出ない保育環境を

はあるが特定の施設を希望する場合などの、いわゆる隠れ待機児童は、26年度末で161人、27年度末で159人となっている。保護者のニーズに沿った地域ごとの保育施設の整備や保育士が不足していることが原因として考えられるため、隠れ待機児童解消に向け、子ども未来計画に基づき施設整備や保育士の確保に努める。

藩校サミット開催で ふるさと教育を

片山議員 藩校サミットの基盤には教育がある。サミット開催が本市の学校教育にどう活か

されるか。

教育長 藩校サミット開催は丸亀教育のさらなる発展を図る絶好の機会である。郷土の歴史や文化を学ぶというふるさと教育にはすでに取り組んでいるが、さらなる推進のため、教師自身の丸亀に対する理解を深めることを目的に丸亀藩校史の講演会を開催したり、多くの子供たちや保護者が見たりできるよう藩校の歴史を学ぶ展示会の開催を考えている。

今後も、丸亀の未来を担う人づくりに努めたい。

食育リーダー育成 市は何を

松浦議員 全市民を対象とした食育を市職員だけで行うには限界がある。本市の取り組みを伺う。

健康福祉部長 本市では現在、ヘルスマイトと呼ばれる食生活改善推進員約270人が、ボランティアで食育推進活動をしている。ヘルスマイトを対象に3種類の研修を行い、食育アドバイザーとしての知識なども習得してもらい、幅広い年齢層

の市民、また地域での食育の普及・啓発を行うリーダーとしても活動してもらっている。今後も、引き続き食育推進のために創意工夫を行いながら、リーダー育成に取り組む。



ヘルスメイトの調理実習

新浄化センター 再生エネ導入を

◎藤田議員 現浄化センターの老朽化に伴い、施設の建て替えは決定している。新浄化センター建設の際、バイオマス活用設備を導入する考えは。

▲市長 浄化センターでは、下水や下水汚泥の処理過程で発生する資源やエネルギーの活用



建て替え予定の市浄化センター

が可能であり、全国的にも下水道資源のエネルギー利用に取り組む事例は数多くある。

下水汚泥の活用には資源としての再利用と発電による再生可能エネルギーとしての活用があるため、今年度実施する基本設計の中で、これら新技術の事業化の可能性について最終的な方針を決定したい。

地方公会計で見える 本市の課題

◎国方議員 地方公会計を活用した財政分析指標の追加や指標の組み合わせによる総合的な分析の導入をどのように考えてい

一般質問

るのか。

▲市長 新財務書類では、国の統一的な基準に基づき全自治体が作成することから、類似団体との比較が可能となる。

本市の財政状況を再確認するとともに、国が示す様々な分析手法を駆使し、客観的な分析を通じて本市の現状や課題を洗い出したい。

また、その分析結果は市民にも、ホームページなどを通じ、できるだけわかりやすく周知したい。

改正障害者総合支援法 市の対応は

◎尾崎議員 改正された障害者総合支援法は、応益負担やサービスの後退が心配される。本市として、市民を守るためにどのような対応をするのか。

▲健康福祉部長 障害者福祉サービスなどの利用者ニーズの多様化やサービス提供事業者の増加など、障害者に対する環境や状況は変化している。

また、3年での法律見直しや本市の財政事情を踏まえ、地域で生活する障害者ニーズに柔軟

本会議インターネット中継!

市議会本会議の生中継と録画配信をしています。
中継ケーブルテレビの放送もハイビジョン化!
さらに見やすく、いつでも見られる市議会を目指します。

市ホームページ
トップ左列

●丸亀市議会

→ インターネット中継(外部リンク)

クリック





丸亀城西高校での模擬投票

に対応し、質の高いサービスが利用しやすくなるよう検討し、今後も障害のある人が安心して暮らせる地域社会の実現を目指していく。

18歳からの政治参加 市の取り組みは

Q 内田議員 選挙権年齢の引き下げにより義務教育課程での政治参加教育が求められるが。
A 教育長 満18歳に引き下げられる選挙権年齢を見据え、選挙制度についての学習内容から、選挙を通じた政治の意義にも触れる学習が展開できるように、各校で研修を進める。

また、学習を通して、主権者として社会の中で自立し、他者と連携、協働しながら、社会を生き抜く力や地域の課題解決を社会の一員として主体的に担う力を身につけるために、学校、家庭、地域がお互いに連携、協働しながら、多様な取り組みが展開できるよう支援する。

生涯設計など 市民へ奨励を

Q 佐野議員 今後の負担を明確化するためにも、終活や生涯設計を全世代に考えてもらう施策が必要ではないか。
A 市長公室長 将来への不安に対応・準備するため、人生百年時代を想定し、高齢者だけに限らず、全ての世代が自らの生涯設計を考えていく必要がある。また、文科省は、高齢者が第2の人生を明るく安心して生活するための終活の必要性をうたっている。
そのため本市では、市民学級として終活講座などを実施しているが、今後も講座内容の充実に努め、終活や生涯設計を全世代に考えてもらいたい。

請願・陳情の取り扱いについて

請願・陳情は、市民の意見や要望を市政に反映させるために設けられている皆さんの権利です。

市議会へ請願・陳情を提出されようとする方は、次の要領で作成し、議会事務局へ提出してください(複写したのではなく原本)。

● 件名、趣旨、理由、提出年月日、住所、氏名(法人や団体の場合は、名称及び代表者氏名)を書いて押印し、あて先は丸亀市議会議長としてください。

また、請願(陳情)者が2人以上のときは、代表者を決めてください。

● 請願には、1人以上の紹介議員を必要とし、その署名・押印が必要(陳情には紹介議員は不要)。

● 請願・陳情の提出者は、議会で趣旨を述べることができません(議会基本条例第10条第1項)。

● 場所等を明示する場合は、必要に応じて略図を添付してください。

● 事務処理の都合上、用紙の大きさはA4版でお願いします。

※随時受け付けていますが、定例会開会の5日前までに提出いただいたものは、原則としてその定例会中に審査されます。

(内容)

(趣旨)
(理由)
.....
年 月 日
住 所
氏 名 ①
丸亀市議会議長
○○○○様

(表紙)

○○に関する請願
(陳情)
紹介議員 氏 名 ①
(陳情には紹介議員は
必要ありません。)



議会ICT化を
目指して

東かがわ市議会を視察



導入実例を研修



タブレットに対応した議場

7月
14日

全国的に議会のICT（情報通信技術）化が進む中、丸亀市議会でもペーパーレス化や事務効率化、経費削減などを図るため、「タブレット端末」の導入について、議会改革特別委員会で検討しています。

東 かがわ市議会は昨年8月にICT推進部会を立ち上げ、導入に向けた検討を進め、各種研修や執行部とのすりあわせを経て、今年4月から議会で実際にタブレット端末を活用しています。議員間や事務局との情報伝達、情報検索など、多くの場面で活用しており、ペーパーレス化や事務効率化だけでなく、議会機能の向上と市民への対応の迅速化が図られています。

こ れまで、月1回の委員会のほか、先進地視察や通信事業者の協力を得ての勉強会など、多角的に議論を重ねてまいりましたが、さらなる検討のため、7月14日に東かがわ市議会を視察しました。県内では東かがわ市と三豊市がタブレット端末を導入しています。

視 察後、参加委員から「勉強になった。よく理解できた」。「執行部も導入する必要があるのでは」など、タブレット端末導入の課題について前向きな議論が多く聞かれました。今後も、市民の皆様の理解を得られるよう、導入の可否も含め、検討を重ねてまいります。

編集後記

パラリンピック観戦で 一歩進む勇気を

いよいよリオデジャネイロ・オリンピックが始まります。オリンピックが8月5日～21日、パラリンピックが9月7日～18日の日程です。

パラリンピックとは、「もう一つの」という意味のパラレルとオリンピックを合わせた造語で「もうひとつのオリンピック」という意味です。

参加選手は、誰もが何らかの障がいを持っています。選手たちは、自分自身の現実を受け入れることから始まり、そこから生きる活路を見つけ出し、想像を絶する努力で記録に挑戦するわけです。

その姿は、私たちに感動と勇気を与えてくれることでしょう。

人生で打ちひしがれた気持ちになる時、その選手の顔と姿を思い出せば、一歩前に進めそうな気がします。

広報広聴委員長 加藤正員